



しろね図書館だより

おかげさまで10周年まであと1年！ しろね図書館は、この6月で9周年を迎えました。

No.109

発行 新潟市立白根図書館
平成21年6月発行
(毎月第1木曜日発行)

五郎



桜蝶



今年もやってまいりました、白根大風合戦！初夏の川面に大風が躍り、勇壮な戦いが繰り広げられます。その舞台となる中ノ口川は、あの直江兼続が治水工事を行なったことにちなみ、しばらくは「直江川」と呼ばれていたそうです。しろね図書館でも、「天地人」や直江兼続の本、風の本をあつめたコーナーを設けています。特に風の本は、ほかでは見られない珍しいものがたくさんあり、昔から白根にお住まいの方でも目からウロコが落ちることうけあいですよ。

謙信



鯛町



達磨



大鳥



中蝶



5月の

来館者…… 14,656 人
貸出冊数…… 15,434 冊
予約件数…… 324 件
ブックバス利用者…… 407人
ブックバス貸出冊数…… 1,058冊

予約ランキング

ただいま人気の本です。しばらくおまちください。
1位 告白 (14名)
2位 聖女の救済 (9名)
3位 パラドックス13 (8名)
4位 英雄の書 上・下 (7名)
5位 ダブル・ファンタジー (4名)

本新蝶



役者



弁慶



日吉丸



一心太助



北若



図書館員が
おすすめする
この1冊

伊藤まてこ 著
新潮社 (596円)

あの人の食器棚



あの人の本棚、カバン、手帳、冷蔵庫の中……

ちょっとのぞいてみたいモノってありますよね。

中でも食器棚は、のぞいて見ることが

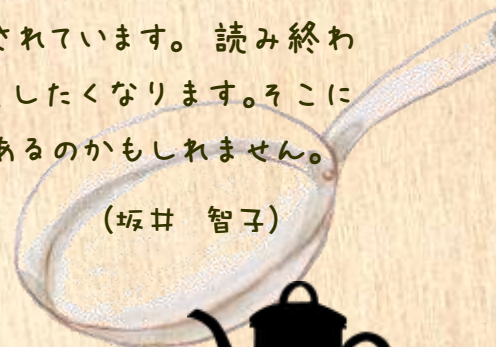
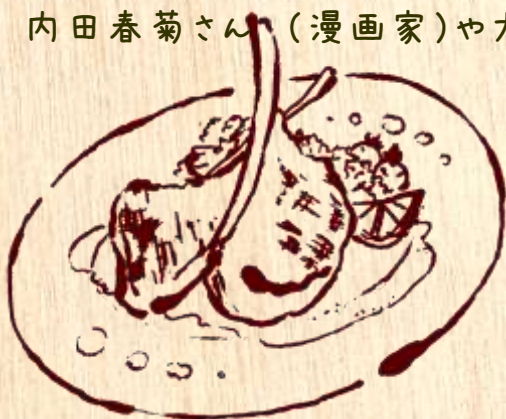
できないところの1つではないでしょうか。

この本は料理のスタイリストでもある著者が職業も年齢もさまざまな19人の台所におじゃまして料理を作ります。“他人の家の台所で料理を作る。”お互いに気心が知れていても、そう簡単にはできない行為です。料理が完成するまでには、冷蔵庫をのぞいたり、食器棚を開けたり閉めたりと、いろいろ作業が必要なわけですから……。

内田春菊さん(漫画家)や大橋歩さん(イラストレーター)の台所も登場します。

台所からその人の暮らしぶりや個性を感じることが出来ます。食器棚のお皿や器も見どころの1つ。もちろん、作った料理のレシピも掲載されています。読み終わると我が家の食器棚も見直したくなります。そこには自分らしい毎日の生活があるのかもしれない。

(坂井 智子)



6月の読書会

6月21日(日) 14:00~

104

ルーム 2

the
higher
power
of
lucky

ラッキー・トリングルの サバイバルな毎日

スーザン・パトロン 著(あすなろ書房)



ラッキーはお母さんを亡くし、親代わりのブリジットと暮らす10歳の女の子。ブリジットが自分を見捨てて去ってしまうのではないかと、いつもドキドキ。そこで自分の道を切り開こうと、ラッキーのたったの勇気ある行動とは。頼みの綱は、サバイバルキットでいっぱいバックパック。ラッキーのハチャメチャな毎日が始まります。

『行かずに死ねるか!』

石田 ゆうすけ 著 (幻冬舎ほか)



自転車でひとり、
7年間をかけて世界一周！
5大陸87ヶ国、9万5千kmを旅した
石田さんの旅行記です。
一番すごいものをみたくて、感じたくて。
大企業のサラリーマンをやめ、
自転車にまたがり世界一周の旅へ。
スピード感あふれる、
濃厚な旅をお楽しみください。

★ ★ 参加者の感想から ★ ★

- ◆ 日本人はすごい。世界に行けばどこかで出会う。自転車旅行している人がたくさんいる。元気のいい日本人も、まだまだいっぱいいるんだなと思った。
- ◆ 自転車だと難しいと思うが、自分ももしバイクに乗れたらやってみたいと思った。自転車はスピードが出ないし、体力勝負だと思うので。
- ◆ 著者は若くて、男の子だからやれたのかなと思った。トイレのこと、着替えのこと、本にははっきり書いてないような部分でも、大変な部分がいっぱいあるのだと思う。女の私にはちょっと無理かな。
- ◆ これからいろんなことに挑戦していく若い人におすすめの本。でも、自分の子どもが行くといったら止めるだろうな。失うものは何ひとつない、怖いもの知らずだから行けたんだろうか。
- ◆ 強盗に襲われて死を目前にしたとき、人はこんなふうに冷静になれるものなのか、と思った。
- ◆ パンツの中にお金を入れておいたのに、やっぱり強盗にはバレて盗られてしまった。昔は日本でも旅に出るとき大切なお金は肌身離さずつけていたと思うが、どこの人も考えることはいっしょなのか。
- ◆ こんな旅ができたらいいな、と思う。人と人の出逢いってすごい。この旅を通じて、いい経験をいっぱいされたのだろう。
- ◆ 行く先々でいろんな人が泊めてくれたり、親切にしてくれたりするけれど、今の私たちの生活の中でこの風体の人を見かけたら……やっぱり声をかけられないな、と思う。
- ◆ 物質的に豊かでない人たちのほうが、むしろ親切にしてくれることが多いという不思議。貧しい者は卑しいというのは、狭い価値観だった。でも、人に親切にしている裏切られた人もいたし、きれいごとばかりでは通用しない、ピュアなままでもいられないということも事実だ。

Next Contents

次回の読書会

ラッキー・トリンプルの サバイバルな毎日

スーザン・パトロン 著
(あすなろ書房)

本は、図書館カウンターで貸し出ししています。
どなたでも気軽に参加できますので、
どうぞおいでください。

(清水)

ルーム 2

6月21日(日) 14:00~

- ◆ 第一印象で「こいつとは絶対合わない」と思った人と、よく仲良くなっているのがおもしろい。
- ◆ 受け取る側から与える側にかわっていくことってある。与えることによって、自分も何かを受け取ることになるものだと思う。
- ◆ 一人で旅をしても、一人では生きていけない。人と出会うために、こうして旅をしているのかもしれない。生きてるだけで丸儲け、生きることのすごさが伝わってくる。
- ◆ 義足の女性とのエピソード。失ったものがあるからこそ、他の人には見えないものが見えてくる。すばらしいプラス思考だが、こんなことをさらりと口にできるようになるまで、彼女にはどれだけの苦労があったのだろうか。
- ◆ 車で通り過ぎてしまつと見えない景色も、自分の足で歩くことで見えてくることもある。
- ◆ 自転車で行く旅は、身体全部でまるごとぶつかっていく。人間は五感をフルに働かせて、いろいろなところでものを感じたほうがいいのだろう。

子どもたちといっしょに



たにかわ しゅんたろう さく
もとなが さだまさ え (文研出版)

表紙をめくれば、もう谷川さん、元永さんの世界にとびこんでしまいます。既にこの本は、たくさんの人に読まれ愛されている本です。まだ読んだことがなかった方にとっては、読んであげた子どもの反応に驚くかもしれませんね。一言声にするだけで子どもは笑ってくれます。それだけ子どもの心にまっすぐに響く言葉。そして、独特の雰囲気を持った絵がさらにおもしろさ、わかりやすさを伝えていきます。言葉がこんなにもすばらしいものだということを改めて感じます。何度も繰り返し読んであげて欲しい絵本です。ご家族みなさんでお楽しみください。

6月の展示架

7月18日から新潟市全域で開催される、「水と土の芸術祭」。

これは、歴史と先人たちに敬意を表し、この地に生まれた「水と土の文化」をアートを通して体感しようというものです。しろね図書館でも、これにちなんでアートを楽しむアレコレを集めました。あなただけの宝物を探してみませんか。

芸術

美術

Art & Art

6月の行事

6月6日(土)
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

6月13日(土)
おはなし会 10:00~
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

6月20日(土)
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

6月21日(日)
読書会(ル42) 14:00~

6月25日(木)
雑誌リサイクル

6月27日(土)
おはなし会 10:00~
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

6月のブックバス

☆6月1日~7月9日までの予定を載せています。
☆6月10日、7月8日(白井小学校)は運休します。

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	庄瀬小学校	13:10~13:40	6/1 6/15 6/29
火A	大通小学校	12:50~13:30	6/2 6/16 6/30
木A	新飯田小学校	10:10~10:30	6/4 6/18 7/2
	味方小学校	13:15~13:45	6/4 6/18 7/2
月B	根岸小学校	児童限定	6/8 6/22 7/6
火B	小林小学校	児童限定	6/9 6/23 7/7
	白根小学校	13:00~13:30	6/9 6/23 7/7
水B	白井小学校	13:00~13:30	-/- 6/24 -/-
木B	茨曾根小学校	10:15~10:35	6/11 6/25 7/9
	大鷲小学校	児童限定	6/11 6/25 7/9